

尾崎行雄「尾崎行雄書簡」

明治25（1892）年5月1

7日

今回の事は立憲制度進歩の一段階と存候。藩閥政府の命脈も日々に短縮致候は、国家のため慶賀すべき次第に御座候。（以下略）

